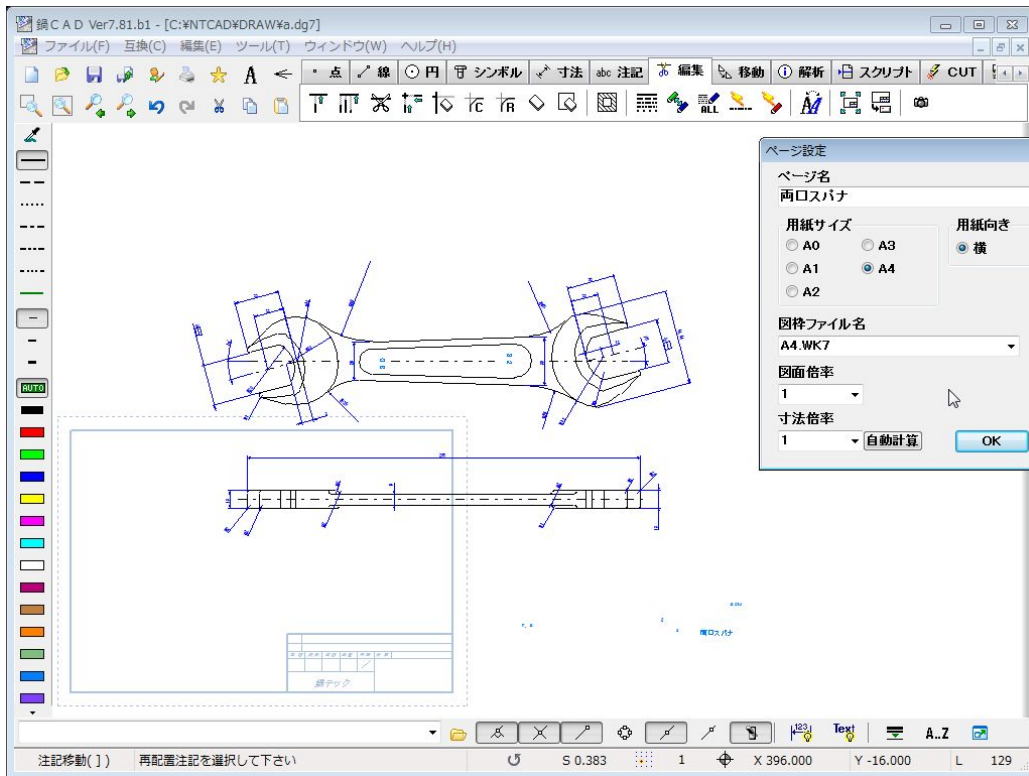
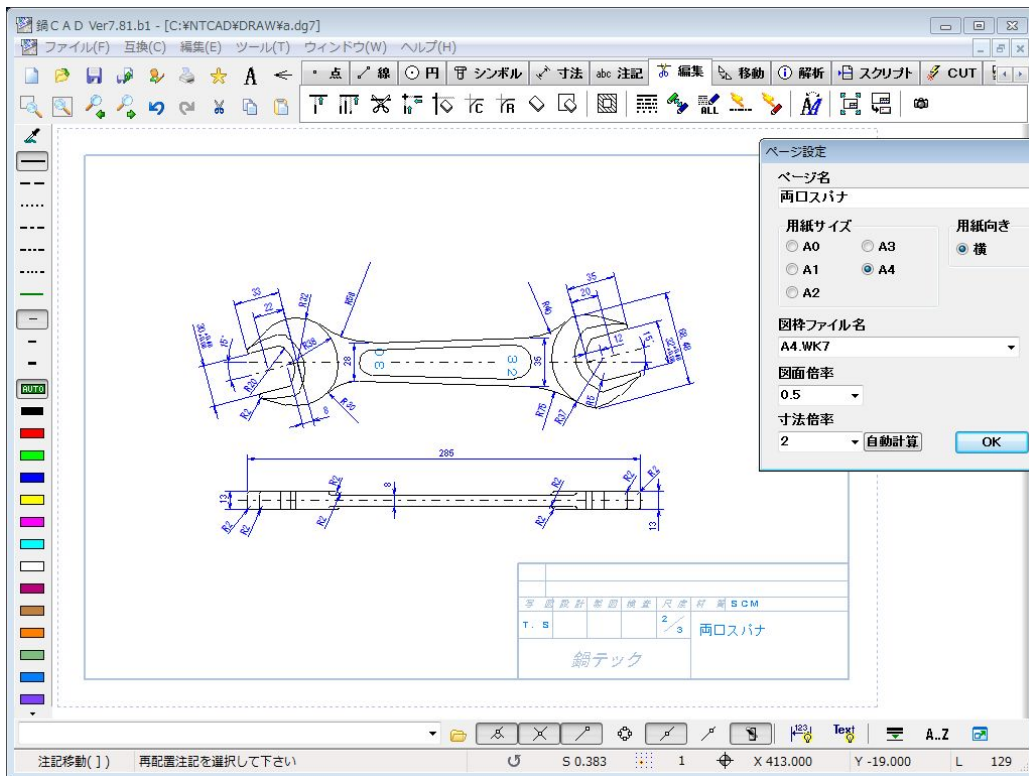


【1】鍋CAD図枠の観念

鍋CADの場合都度図枠を作図するのではなく、いったん専用図枠を登録しておいて再利用します。動作自体はシンボルと似ていますが、違うところは図面倍率に影響されないところです。



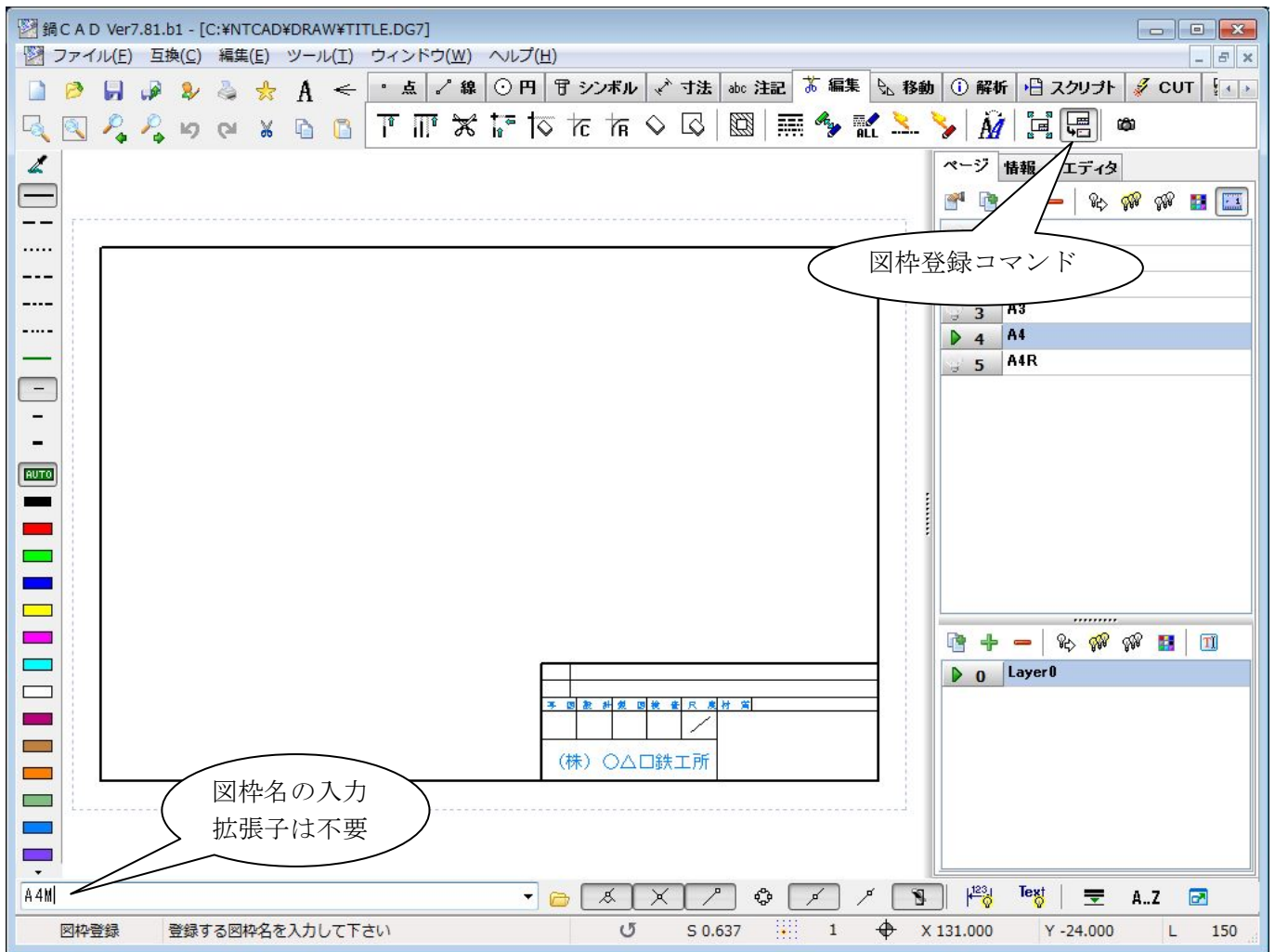
例えば、図面を1/2で書くとすると図面倍率は0.5になりますが、ページ設定にて0.5と設定すると、図枠が見かけ上大くなります。しかしこれは図枠が大きくなったのではなく作図要素が小さくなったのです。



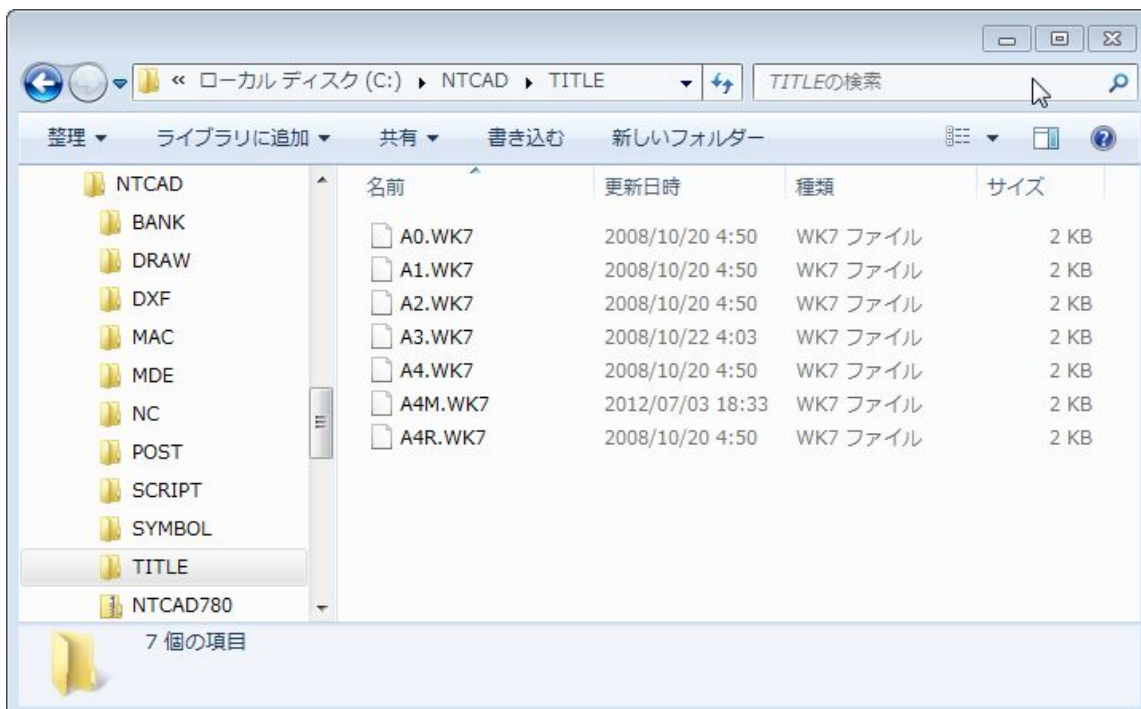
この様に図枠とページ設定の図面倍率は連動しています。

【3】図枠の登録

只今サンプルを修正した物をA4M.WK7として登録します。

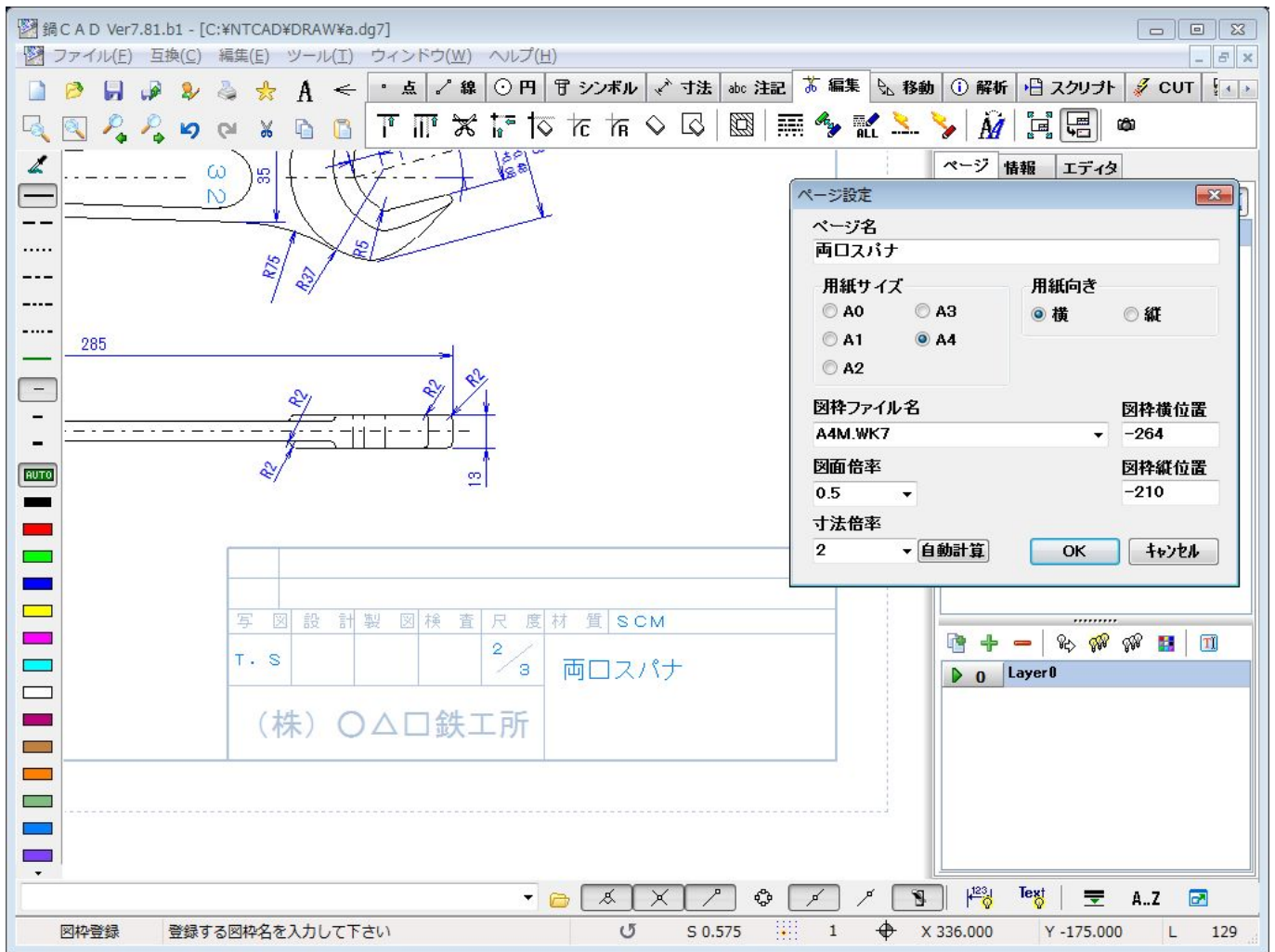


この作業にてTITLEフォルダに登録された図枠（A4M.WK7）は、以後何度でも再利用することが出来ます。



【3】図枠の利用

登録された図枠はページ設定の図枠ファイル名にて設定します。



このようにしてオリジナルの図枠を各種揃えれば作業効率の向上に繋がります。

当然ですが、ページ毎に違う図枠を設定できます。

※最も重要なことですが、鍋CADの図枠機能は必ずしも使う必要は無く、通常の図面要素として書いても問題有りません。こだわらないで下さい。

なお、ご不明の点は、サポート掲示板にて質問して下さい。

※メールによる個別サポートは行っておりません。



鍋テック 担当 坂田

E-Mail info@nabetech.com

HP <http://www.nabetech.com/>